

畑田遺跡 現地説明会資料

令和6年12月1日（日）

調査地 愛知県岩倉市井上町畑田
調査原因 五条川小学校区統合保育園建設事業
調査期間 令和6年5月13日～12月28日 ※令和7年度報告書刊行予定
調査面積 約3,300㎡
調査主体 株式会社 アーキジオ 中日本支店
調査指導 岩倉市教育委員会（担当：生涯学習課）

1 はじめに

岩倉市井上町畑田では、五条川小学校区統合保育園（仮称）の建設事業が計画されています。建設予定地周辺には、「八劔遺跡」をはじめ「七面山古墳」、「井上城」など縄文時代から中世にかけての遺跡が複数所在しています。

令和5年10月に事業地において市教育委員会が遺跡の有無確認の調査を行い、調査の結果、古墳時代と中世の土層と土器片90点が出土したので、新たな周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）として登録しました。

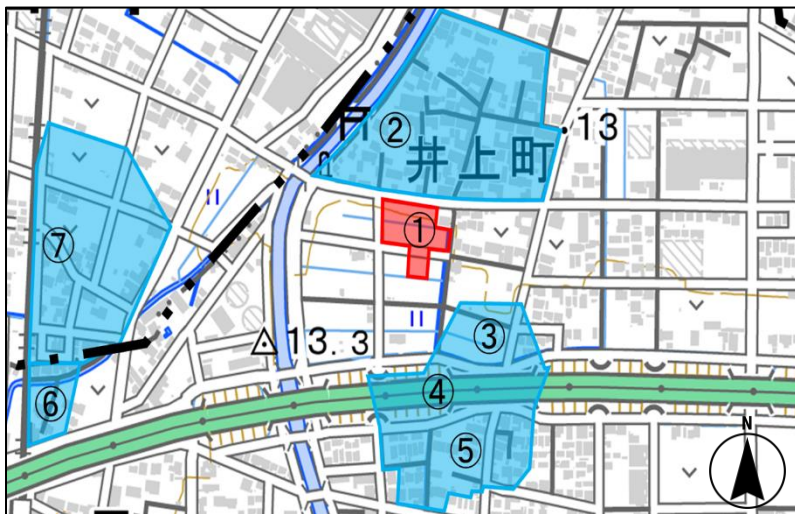
今回の発掘調査は記録保存を目的としており、令和6年5月から調査を進めています。

2 遺跡の概要

1) 地理的環境

畑田遺跡が所在する井上町は市の最北部に位置し、北は江南市、東は小牧市、西は一宮市に囲まれています。地理的には、木曽川によって形成された犬山扇状地の扇端部の南限に位置し、畑田遺跡は井上町のほぼ中央標高13mの平地に所在します。

2) 周辺の遺跡



※ 地理院地図 / GSI Maps | 国土地理院

凡 例			
番号	遺跡名	種別	時代
①	畑田遺跡	集落	古墳～平安
②	井上城	城館	中世
③	八劔遺跡	遺物散布地	縄文～古墳
④	八劔砦	城館	中世
⑤	七面山古墳	古墳	古墳
⑥	長福寺遺跡	遺物散布地	弥生
⑦	長福寺廃寺（一宮市）	社寺	古墳

3 各調査区の成果

1) A区：

1 面目・調査区の東側から北側にかけて、中世後半から近世初頭（安土桃山時代～江戸時代初頭、16～17世紀）と想定される区画溝（屋敷溝）をはじめ、土坑、柱穴など確認しました。

・調査区中央より、区画溝と同時期と想定される道路状の遺構を確認しました。

2 面目・調査区の東側から、古代（平安時代初頭、9世紀）の土師器の甕などが出土しています。遺構は溝や柱穴などを確認しました。

2) B区：

1 面目・調査区の東側から南側にかけて、A区と同様に中世後半から近世初頭と想定される区画溝（屋敷溝）をはじめ、土坑、柱穴などを確認しました。

3) C区：

1 面目・近世の溝12条、柱穴6基などを確認しました。

2 面目・中世後半の溝4条などを確認しました。

4 まとめ

今回の発掘調査では、A区・B区を中心に東西方向に延びる明治・大正時代の旧河道を確認しました。そして、旧河道の流路範囲は畑田遺跡の大半を占めており、この流路の影響で遺物包含層及び地山層（自然堆積層）の大半が流されている事が判明しました。

畑田遺跡の中でも、旧河道の影響を受けなかった微高地には、中世後半から近世初頭（16～17世紀）と想定される区画溝（屋敷溝）・道路状の遺構などを確認できたことから、中世後半から近世初頭にかけて調査区内には集落が存在していたと推測されます。

また、調査では、弥生時代、古墳時代、古代の遺物も出土しており、中世以前の集落が存在しており、早くからこの地に人々の生活が営まれていたと考えられます。

5 出土遺物



江戸時代の陶器獅子装飾（A区1面目）



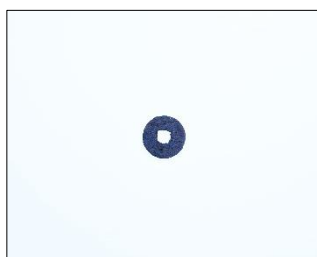
平安時代の土師器甕（A区2面目）



弥生時代の器台（A区2面目）



弥生時代の高坏（C区1面目）



江戸時代のお金（C区1面目）



江戸時代の陶器煤付着（C区1面目）